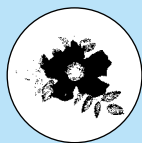
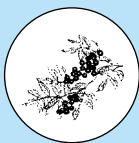


おこっぺ



町の花ハナナス



町のホナナカマド

議会だより

第165号

令和3年11月15日

発行／☎098-1692紋別郡興部町旭町興部町議会

TEL (0158) 82-2135
FAX (0158) 82-2990

編集／議会広報特別委員会



興部町剣道スポーツ少年団

第3回町議会定例会…… P2～4・P8～9

各会計歳入歳出決算認定 …………… P5～7

所管事務調査報告 …………… P10～12

議会の動き・議員活動報告…………… P13

今回の表紙・編集後記 …………… P14

令和3年第3回 町議会定例会のあらまし

令和3年第3回定例会は、9月9日(休)開会され、町長の行政報告、承認1件、議案13件、認定1件、同意1件、報告1件、選挙1件、発議2件、計20案件が審議されました。

町長行政報告

新型コロナウイルス 感染症について

国内における昨年1月からの感染者数は159万人に達し、北海道内でも5万8千人以上が感染、私たちの生活圏であるオホーツク管内の感染者も916人に上り、未だ終息には程遠い現状にあります。(9月7日現在)

国は、全国に広がっている感染者数を抑え込むため、緊急事態宣言の実施区域を21都道府県に拡大するとともに、12県をまん延防止等重点措置区域として、期限を9月12日までとしたところですが、感染力の強いデルタ株をはじめ変異ウイルスの猛威により感染者数の大幅な減少にまでは至っていません。

感染を防ぐには国民一人ひとりが「感染しない、させない」という意識を強く持ち続けることが重要です。

ので、私たちが出来る不要不急の外出自粛やマスクの着用等の感染防止対策の徹底を引き続きお願いします。

一方、5月より開始していますコロナワクチンの予防接種は、順調に推移しており、65歳以上の高齢者の接種は、希望者全員の2回接種を終了し、接種率は87・8%(1千146人)です。

64歳以下の接種状況(9月7日現在)は、1回接種者が66・5%、2回接種者が45・3%となっていますが、9月末までには全町民の8割以上が2回のワクチン接種を終了する見込みであり、10月末までには接種希望者全員の接種を完了できよう引き続き取り組んでいきます。

また、町における今後の対策としては、引き続き水道基本料金の減免期間の延長や、町民の感染に対する不安の解消を図るため、コロナウイルス抗原検査キットを無料で配布するなど、

新たな対策に係る補正予算を本議会に提案します。

役場組織の機構改革 について

現在の機構は、平成17年より8課体制となっていますが、近年の行政課題に対応した「ふるさと納税制度と地域産業の連携強化」及び「バイオエネルギーの活用による国が推進するカーボンゼロ社会の実現」に向けた「まちづくり」を目指し、「まちづくり推進課」の新設等による9課体制に変更し、10月1日から施行



新設された「まちづくり推進課」

するため、関係条例の一部改正について本議会に提案します。

町内の火災発生に ついて

6月から7月にかけての高温・少雨によって干ばつ状態が続いた影響で、7月18日に沙留西町で約6アールを焼く林野火災が発生し、また7月22日には秋里にて民家に隣接する物置が焼損する火災が発生しました。

幸いにも負傷者も無く、大きな延焼には至りませんでした。町民の皆さまにおかれましては、屋外等における火の取扱いについては十分注意をお願いします。



教育関係

興部中学校野球部が、滝上・西興部中学校との合同チームとして、7月17日から千歳市等で開催された「第38回全日本少年軟式野球北海道大会」で見事に全道優勝を成し遂げたところです。

全国大会については、開催地の神奈川県に緊急事態宣言が発令されたことにより、一時は中止と発表されましたが、関係各位のご尽力により、開催地を長崎県と佐賀県に変更し、8月23日から開催されたところです。

試合では、1回戦に勝利しベスト8に進出しましたが、続く準々決勝では惜しくも敗退となりました。

しかしながら3町村の合同チームとして練習環境も厳しい中、たゆまぬ努力により輝かしい成績を収められたことは、町にとっても明るいニュースとなったところです。



全国大会に出場した中学校野球部（長崎県営野球場）

農作物の作況

本年の1番牧草の収穫とサイレージ調製は、気候にも恵まれたことから順調に進み、収穫量は平年並みとなりました。

2番牧草につきましては、7月に高温少雨が長引いたことにより生育が停滞し、収穫量は平年より少ない状況です。

また、飼料用トウモロコシについては、少雨の影響を受けたと思われる圃場も見受けられますが、7月の高温により生育は順調であり、子実の成熟も平年並みに推移しています。

生乳生産

8月31日現在、4万6千540・6tで、計画対比101・7%、前年対比114・3%となっています。

林業関係の状況

本年度計画していました造林地の下刈については事業を完了し、間伐・植栽工事につきましては、秋里地区の皆伐工事及び植栽工事を随時発注予定です。



造林地の下刈（沙留地区）



好漁が期待されるサケの水揚げ



豊畑2号橋の架替工事

漁業生産の状況

8月末現在、全体水揚量は1万3千826tで、前年同期比669tの増となっています。

主な漁獲量につきましては、毛ガニ漁では計画対比100%の26tで、漁獲許容量を全量消化し、7月3日に漁を終えています。ホタテ漁は計画対比88・

9%の1万5千105t、前年同期比146tの減です。

また、マス定置網漁は7月12日に水揚げが開始され、前年同期比24t減の155t、サケ定置網漁は9月4日より水揚げが開始されており、漁獲量及び価格ともに、今後の好漁を期待するところです。

建設工事の発注状況

9月1日現在、土木・水道工事、建築工事とも、予定工事につきまして全て発注済みとなっています。

主役は
あなたです！

議会を傍聴してみませんか

○次回定例会は12月です○

会期：12月10日(金) (予定)

一般質問：12月10日(金) (予定)

※会期及び一般質問の日程につきましては、議事の進行等により、変更となる場合がありますのでご了承願います。

※本会議を傍聴される方は、本会議当日、役場3階傍聴席入口に直接お越しください。
傍聴人受付簿に住所、氏名をご記入いただければ、傍聴席に入ることができます。

※現在、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、傍聴席を11席に制限しております。
通常時の傍聴席は、28席です。

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、本会議の傍聴は、発熱などで体調がすぐれない方はご遠慮ください。
傍聴時には、手指の消毒・咳エチケット（マスク着用など）にご協力をお願いいたします。

問合せ先：議会事務局 Tel 82-2135

令和2年度 各会計歳入歳出決算認定

令和2年度興部町各会計決算認定は、議員全員による決算審査特別委員会が設置され、委員長に藤渡 昭博委員、副委員長に竹内 清委員を選出しました。同委員会は、9月9日、13日、15日の三日間にわたり全体会議方式で詳細に審査を行い、採決の結果、原案どおり認定しました。

決算審査特別 委員会での質疑

【総務課所管事項】

〔竹内 清 委員〕

Q 委託料で、コンプライアンス研修、ハラスメント研修と記載されていたが、これらの研修は行われたのか、行われたとしたら何人位参加したのか教えてくだ
さい。



A 研修会は、3本予定していたが、コロナ禍で全て実施できず、ハラスメント研修をウェブ会議で実施し、管理職も含めて午前と午後に分かれ、ほぼ全員が参加した。

2年度に行えなかった分については、3年度で予算を計上しており、ウェブ会議で実施していきたい。

〔矢野 幸三 委員〕

Q 職員厚生費の健康診断の手数料に執行残が多いが、職員の受診率が低いのではないか。

A 職員と会計年度任用職員の健康診断料としてみていたが、職員については、9割以上が受けていたが、会計年度任用職員について周知が至らない部分があり、受けていない方がおり、残っていました。
現在は会計年度任用職員にも周知しており、今年度は残らないものと思っている。

【企画財政課所管事項】

〔竹内 清 委員〕

Q 備荒資金は、災害時にしか使えないが利子が良い。

調べた中では、各市町村最低でも1億、多いところだと2億、3億とあり、毎年200万、300万と増えてくる。

10年で2千万、3千万という金額になるため、検討した方がよいのではないかと質問したことがあるが、その後検討はなされたのか。
A 今の興部町の現状をみると、こども園、給食センターと使っていくところがあり、財政調整基金に積んで、充てていきたいと考えている。

余力があれば利息の良いところに積むべきだが、かつて備荒資金に1億円ほど積んでいたが、災害で取り崩した部分もあり、1億、2億と積んでいきたい考えはある。

災害時にしか使えないため慎重に考えながら、財政調整基金、減債基金、備考資金が良いのか検討していきたい。

〔藤渡 昭博 委員長〕

Q 危険家屋対策事業で、去年の需用費の支出がゼロになっているが、どうしてこうなったのか聞かせてください。

A 年に1回、危険家屋の調査をしており、基本的には所有者の方に修繕や維持管理についてお願いしている。

所有者が不在の場合に公費を用いて修繕するための経費で、現在、所有者が不在となっているところが無く、公費は使用していない。



令和2年度 各会計歳入歳出決算認定

【収納対策委員会
所管事項】

〔桑辺 博教 委員〕

Q 収納対策について、納めていない方は、どのような傾向が多いのか教えてください。

A 一概にこういう方というのはいないが、収入が無くという面があるように、お金はあるが全く払わないという方は少ないのではないかと思います。

個々の状況をみながら、余地のある方に関しては、良い返事がいただけるよう職員が対応している。

予算に對しどの位の実績があったのか教えてください。

A 予算額191万円に対し、決算額が43万5千600円、不要額が147万4千400円です。

利用件数は、対象件数が180人おり、交付実績が85人、利用実績は、84人です。

Q 191万円の予算に対し、実際に利用されたのが、43万円弱であり、あまりにも少ないと思うが、今後の利用促進についてはどう考えているのか。

A 2年度については、制度の初年度であり、浸透していなかったことと、制度の内容的に家族で車を所有していると対象にならないなど条件が限定されていることから利用者が少なかったと考えている。

【福祉保健課
所管事項】

〔竹内 清 委員〕

Q 高齢者等外出支援ハイヤー等利用助成金の実績の減という説明があったが、助成金の

年度よりも実績が上がっている状況です。

Q 予防接種事業の中で、風しん対策の実績による減という説明があったが、この対策は、昭和37年4月2日から昭和54年4月1日まで、風しんのワクチンを一度も打っていない方に対する国の事業になるかと思うが、コロナと風しんが同時に流行しては困ると思うが、該当者に対する2年度末での抗体検査数とまだ検査していない方に対する今後の対応を聞かせてください。

A 風しんの抗体検査は、元年度と2年度の合計で、対象者296名のうち検査を受けた方は61名の20%程度で留まっている。

検査数の少なかった原因は、北海道では風しんが流行していなかったこと、コロナワクチンが未接種で病院に行くのはどうかと考えた方が多かったのではないかと認識している。

国ではまだ2年度の結果

は出ておらず、元年度分では検査数20%と興部町とほぼ同じような状況となつて

いる。
3ヶ年最後の年度になるため、受けられていない方への勧奨や各事業所においているなどして、一人でも多くの方に検査を受けてもらうよう進めている。

〔矢野 幸三 委員〕

Q 不妊治療の助成事業について、令和2年度から出生率を上げるため、町は道の事業に交通費や宿泊費の助成を上乘せして事業を行ったが、実績を説明してください。

A 2年度については、予算額19万円に対し、支出額13万4千円で、2名の方に助成しており、どちらもまだ初期的な治療の段階であるため金銭的には小さくなっている。

Q 助成事業の内容をどのような方法で周知をしたのか。

A 全体にお知らせするのではなく、妊娠を希望されている方に直接届くように、近隣の産婦人科で興部町の事業をお知らせしていることと、北海道が元々やっている事業がありそれに町が上乘せするような形になるため、保健所でも同様にお知らせしている。

北海道のホームページにも興部町の助成について情報を掲載している。

【建設課所管事項】

〔竹内 清 委員〕

Q 2年度で新たに実施した、興部町定住促進住宅建設支援及び興部町雇用者住宅建設支援の各申請と交付状況を教えてください。

A 定住促進住宅建設支援事業の2年度交付分は、新築住宅8件、増築住宅2件、中古住宅購入3件で、3年度交付分は、新築住宅16件、中古住宅6件の予定です。

雇用者住宅建設支援の2

年度交付分は、3件で、3年度交付分は、対象物件はありません。

Q 新築の中で町内業者が建設する場合と町外業者とでは助成率が変わるが、町内、町外が何件なのか教えてください。

A 2年度の新築8件のうち、町内業者が1件、残りが町外業者で、増築住宅2件のうち、町内業者が1件、町外業者が1件です。

【上下水道課 所管事項】

〔藤渡 昭博 委員長〕

Q 水道使用料で、2年度は未納金の額はそう増えていないが、人数がかなり増えているのはどのような理由なのか聞かせてください。

A 未納金については、コロナの関係で仕事が

なくなり猶予がほしいという方や転入後の手続きが遅延し振込みが完了していなかった方もおり、決算時点では20人の方が未納と記載されているが、8月末では14名となっています。

【国保病院所管事項】

〔竹内 清 委員〕

Q 5年連続の損失で、企業債の償還金が今後も増えていくと思うが、説明の中で経費の削減に積極的に取り組んできたことあったが、大きな経費の削減は原価償却であって、一般的な経費の削減にはなっていない様に感じるが、積極的に取り組んできたのは、どのようなことなのか説明してください。

A 原価償却の部分で落ちているところはあるが、材料費が高騰し、その中でもあるべく安いものにして、薬品費も積極的にジェネリックを入れたりして経

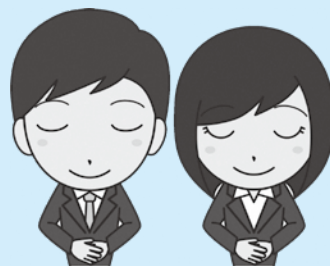
費の削減をしている。現状は病院が新設されてから6年が経過し、機械の故障、部品の購入・修繕等があり費用がかさんでしまっており、委託料や賃借料含め増えてきている状況であるが、自分たちで出来る細かな消耗品等も安価なものを探して対応している。



議会報告会(意見交換会) 中止のお知らせ

例年4月に開催しておりました議会報告会(意見交換会)につきまして、新型コロナウイルス感染症が拡大している状況を鑑み、開催時期を延期し実施の検討をしておりましたが、道内において感染者は減少傾向にあるものの未だ予断を許さない状況が続いており、昨年度に引き続き本年度も開催を中止させていただくことといたしました。

町民の皆様には、ご理解をいただきますようお願いいたします。



専決処分を承認した案件

令和3年度興部町一般会計補正予算

(専決処分第2号)

補正額は、210万円を追加し、歳入歳出それぞれ49億2千361万5千円とし、原案どおり可決した。

補正内容は、興部・滝上・西興部中学校野球部合同チームの全国大会出場に伴う中体連対外競技参加費補助金の増額。

一般会計補正予算(第3号)

補正額は、1億1千8万円を追加し、歳入歳出それぞれ50億3千369万5千円とし、原案どおり可決した。

歳入の主なもの

- 鮮度保持施設等整備事業 2千970万円増
- 公私連携幼児連携型認定こども園施設整備事業

2千820万円増
○簡易水道事業特別会計繰出金

2千550万円増
○興部町営牧野管理事業

830万円増
○商工会振興補助事業

700万円増
○再生可能エネルギー利活用推進事業

257万円増
○過年度過誤納還付金

188万円増
○一般管理費一般経費

165万円増
○新型コロナウイルスワクチン接種事業

162万円増

特別会計等補正予算(第1号)

特別会計等4会計で補正予算が提案され、原案どおり可決した。

①令和3年度興部町介護保険事業特別会計補正予算

(第1号)

補正額は、299万円を追加し、総額3億4千673万円とした。

補正内容は、要支援者への福祉用具の貸与及び住宅改修の申請者増に伴う給付費等に係る歳入歳出予算の増額。

②令和3年度興部町簡易水道事業特別会計補正予算

(第3号)

補正額は、386万円を追加し、総額2億5千342万円とした。

補正内容は、歳入でコロナの影響による経営・経済

支援対策として水道使用料の減免期間延長による使用料の減額及び減額分の補てんとして一般会計繰入金

の増額、歳出で漏水対策として第二水源からの取水に伴う発電機燃料費の増額及び給水車運搬業務委託料の増額、漏水による給水管等の修繕費の増額。

③令和3年度興部町公共下水道事業特別会計補正予算

(第3号)

補正額は、660万円を追加し、総額3億3千214万円とした。

補正内容は、歳入でコロナの影響を受ける飲食・宿泊業に対する経営支援対策として下水道使用料の減免期間延長による使用料の減額及び減額分の補てんとして一般会計の繰入金

の増額、交付金事業の前倒し実施による国庫補助金、繰越金及び町債の増額、歳出で公共財修繕費の増額、交付

金事業の前倒し実施による沙留下水終末処理場施設計業務委託料等の増額。

④令和3年度興部町国民健康保険病院事業会計補正予算

(第2号)

補正額は、収益的収入及び支出の病院事業収益を79万円増額し、収入総額を6億432万円とし、病院事業費用を560万円増額し、支出総額7億7千663万円とした。

補正内容は、収入でオンライン資格確認等システム導入に係る補助金の増額、

支出で院内冷暖房機等の修繕費の増額、オンライン資

興部町議会ホームページのご案内

興部町議会のホームページには、過去10年間の議会だよりを掲載しています。議会だよりのほか、定例会や臨時会の日程、議会の傍聴方法などを掲載していますので、是非ご覧ください。

ホームページアドレス <https://www.town.okoppe.lg.jp/cms/section/gikai/index.html>



格確認導入業務委託料の増額。

制定・改正された 条例等

①行政組織の改編に伴う関係条例の整理に関する条例の制定

②興部町過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の制定

③興部町会計年度任用職員
の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

④興部町情報公開条例の一部を改正する条例

⑤興部町個人情報保護条例の一部を改正する条例

⑥興部町手数料条例の一部を改正する条例

⑦西紋別地区環境衛生施設
組合規約の一部変更

その他議決された 案件

○興部町過疎地域持続的発展市町村計画

興部町教育委員会 委員の任命について

任期満了に伴い、再度、菅原博氏を任命同意した。

興部町選挙管理委員会 委員及び同補充員の選挙

任期満了となる同委員・補充員の選挙を行い、次の方々が当選されました。

○選挙管理委員

・本 町 神田 泰彦氏

・仲 町 橋本 恵氏

・仲 町 田中 啓一氏

・幸 町 細川 明氏

○補充員

・春日町 山崎 重氏

・元 町 川原田正志氏

・旭 町 中村 周平氏

・沙留海運町 坂本 亨憲氏

報告された案件

○令和2年度普通会計等財政健全化判断比率及び公営企業会計資金不足比率の報告

意見書の採択

○コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書

提出者 阿部 昭一議員

賛成者 前田 義雄議員

賛成者 小泉 優子議員

賛成者 矢野 幸三議員

賛成者 桑辺 博教議員

・新型コロナウイルスの感染拡大は、変異株の猛威も加わり、甚大な経済的・社会的影響を及ぼしており、地方財政は、来年度においても巨額の財源不足が避けられない厳しい状況に直面している。

地方自治体においては、新型コロナウイルス感染症対策はもとより、地方創生、雇用対策、防災・減災対策、デジタル化や脱炭素社会の実現とともに、財政需要の増嵩が見込まれる社会保障等への対応に迫られており、地方税財源の充実が不可欠であり、令和4年度地方財政対策及び地方税制改正に向け、急速な高齢

化に伴い社会保障関係経費が増大している現状を踏まえ、他の地方歳出に不合理なしわ寄せがなされないよう、十分な地方一般財源総額を確保すること等を求める意見書を提出する。

○国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書

提出者 藤渡 昭博議員

賛成者 阿部 昭一議員

賛成者 竹内 清議員

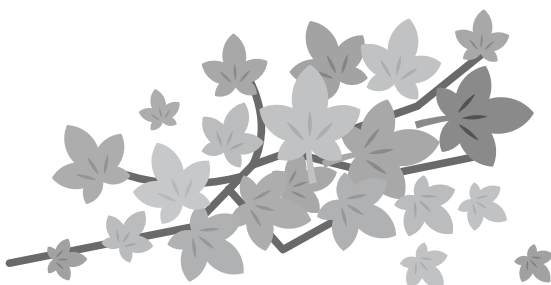
賛成者 鈴木 精一議員

・新型コロナウイルス感染症の影響の長期化により、本道の経済は食産業や観光業、農林水産業など幅広い分野において、大きな打撃を受けている。

また、近年道内においても、自然災害が激甚化・頻発化する傾向にある。

今後は、ポストコロナを見据えた新たな未来に向けた取組を加速することが必要であり、平常時・災害時を問わない北海道を支える基盤の確立に向け、国と地方の適切な役割分担の

と、防災・減災、国土強靱化に必要な予算を安定的かつ継続的に確保することが重要であるため、国土強靱化に資する社会資本の整備・管理が長期安定的に進められるよう、公共事業関係予算の所要額を確保すること等を求める意見書を提出する。



所管事務調査報告

産業建設常任委員会

第2期興部町総合戦略における産業振興の施策・事業について



興部町人口推計2060年では、国立社会保障・人口問題研究所は、1千900人まで減少と予測しているが、総合戦略策定による各種施策等を実施することで人口減少を抑止し、2千442人を目標とするもの。今回、第2期興部町総合戦略のうち、基幹産業の振興と雇用の創出並びに新しい人の流れを作ることについて、8月27日、担当課に対し調査を実施した。

【担当課による説明】

1. 基幹産業の振興と雇用の創出

① バイオマス産業都市構想の創造について

整備済みのバイオガスパラント（BGP）は、町営1箇所、民間2箇所の3箇所であり、今後3地区を計画。そのうち2地区を申請しているが、送電線や変電所の改修及び出力制限装置の開発等で数年かかる見通し。

BGPを利用した取組として、循環型農業の強化、ゼロカーボンの取組み、電力の域内供給、電気自動車を利用した電力供給による防災対策、そして化学プラントからのギ酸・メタノール生成による水素社会の実現等を計画している。

② 北オホーツク地域循環共生圏構想に基づく地域連携について

共生圏は西紋と湧別町の6市町村で構成、各地のバイオマスエネルギーを活用

し、電力や熱等の生産と供給を行う地域商社設立を目指し、脱炭素社会を実現するとともに災害時のブラックアウトにも対応可能なシステムの構築を進める。

③ 新規創業者への支援継続や観光拠点である道の駅イベント館の再整備

上記取組により令和6年までに15名程の新規就労者増を見込んでいる。

2. 新しいひとの流れをつくる

① 道の駅施設の改修、周辺環境の整備や沙留海水浴場の再編整備

② 各種イベント実施団体等への支援継続

③ 広域観光連携事業の推進により西紋地域での連携した広域観光ルートの拡充や都市圏へのSNS等を活用したPR活動の推進

④ 交流事業について

酪農・漁業の生産現場、農業科学センターでの食品加工など体験型観光で移住



整備済みのバイオガスパラント（北興）

を促す。

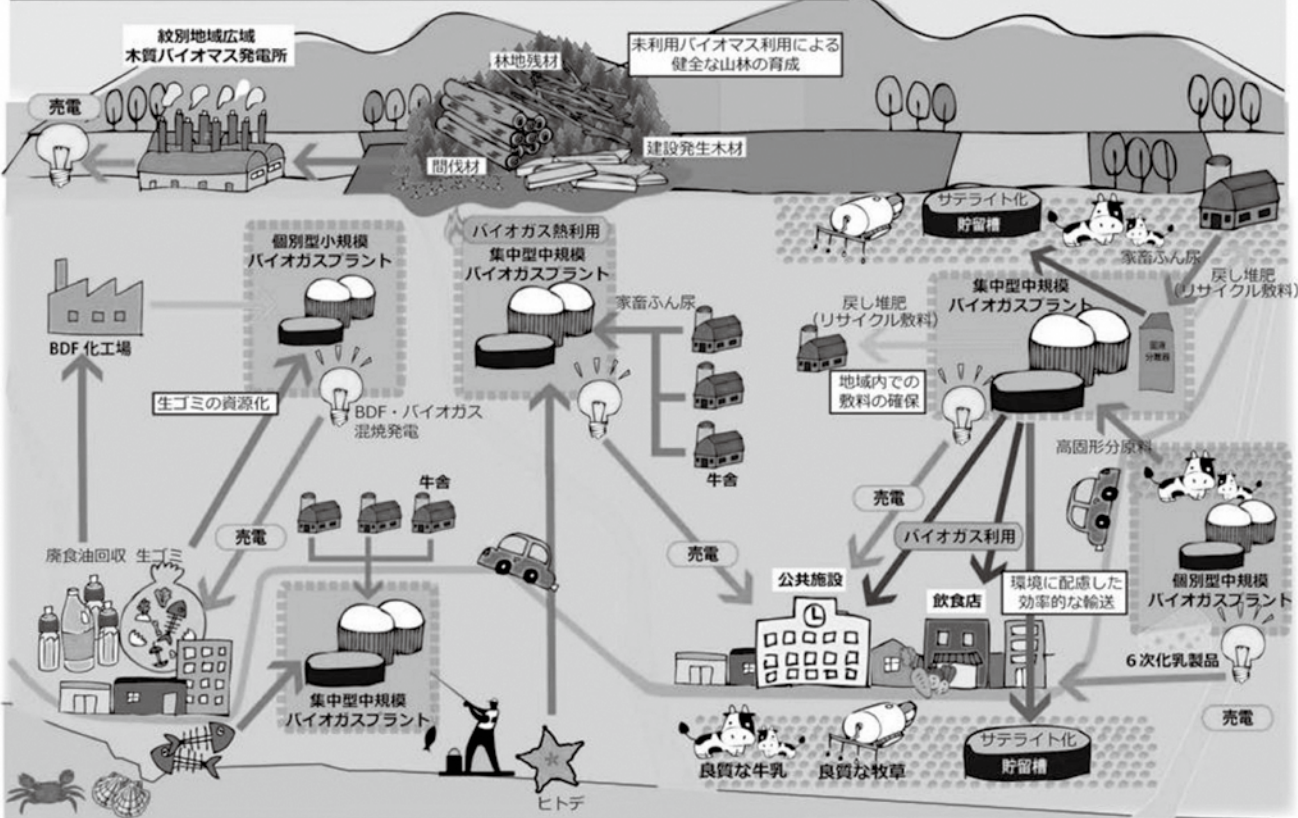
上記施策により町の活性化を図ることで、観光入込客数を令和6年には6万人とする目標（令和元年は5・5万人）。

【委員質疑と担当課回答】

① 道の駅周辺の環境整備の考え方について質問があり、年次計画を立てた中で、順次整備したい。

② さるる海水浴場の整備についての質問があり、過去の時化被害、砂浜の浸

興部町バイオマス産業都市構想モデルイメージ



食や道管理の駐車場胸壁破損問題等あり、今後計画を立てた中で進めたい。

③次期BGPの事業の中で、今後整備の検討を進めている3地区のうち1地区を見送った理由について質問があり、建設自体のコストの問題、売電についての仕組みの不明瞭さがあることから、今回もう少し検討したい旨の考えがあり、情報を収集して今後の整備を検討したい。

④現在のBGPの計画と大阪大学等とのギ酸・メタノール生産の実証実験との関係並びに実証実験により事業化が見通せた場合のプラント立地は興部町以外の可能性あるかとの質問に対し、より多くのギ酸・メタノールが生産され、大阪大学としても興部町でやりたいとの意向。また町としても、単なる売電ではなくギ酸・メタノールが様々な製品に使われることで、

町づくりの一環として考
える方向。

地域循環共生圏構想は、バイオマス資源の活用により海が綺麗になることに触れるべきとの意見について、広域的な活用について各地の課題を持ち寄って話し合いを重ねている段階であるとの回答。

SDGs（※1）関連でもあるエネルギーの地産地消を目指し、新たな地域産業の創出による就労者増等寄与する施策が強く望まれるとともに、エネルギーとしての熱源やCO₂の利活用による寒冷地仕様の野菜・果実工場や魚類増養殖施設建設等を併せて期待したい。

(記) 産業建設常任委員会
委員 鈴木 精一

・(※1) SDGs (エスディー・ジーズ) とは

SDGs（持続可能な開発目標）は、「誰一人取り残さない」持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標です。2015年の国連サミットにおいて全ての加盟国が合意した「持続可能な開発の

ための2030アジェンダ」の中で掲げられました。2030年を達成年限とし、貧困や教育、エネルギーや資源の有効活用、地球環境など、17のゴールと169のターゲットから構成されています。

所管事務調査報告

総務社会常任委員会

「西紋こども発達支援センター」について



8月27日総務社会常任委員会所管事務調査として「西紋こども発達支援センター」について福祉保健課、開米課長の説明を受けました。（コロナ禍のため直接、西紋こども発達支援センターに訪問することは出来ませんでした。）

西紋こども発達支援センターは、令和元年9月11日に西紋地区（紋別市・滝上町・興部町・雄武町・西興部村）を対象地域とし心身などに障がいのある児童に対する機能回復訓練及び家族への必要な指導・助言を行うことにより、児童の健全な育成と福祉の増進を図ることを目的とした障がい児通所支援事業を行うために開設されました。



障がい児通所支援事業内容は、①児童発達支援、②放課後等デイサービスです。児童発達支援は、日常生活における基本動作及び必要な知識技能を習得し、集団生活に適應する事が出来るよう、就学前の障がい（何らかの困り感があるお子さんも含む）を持った児童に対し、適切かつ効果的な指導・訓練を行うことです。

放課後等デイサービスは、就学していて、授業終了後（放課後）または休業日（夏休み等）において、支援が必要と認められた児童に対し、生活能力向上のために必要な訓練、社会との交流の促進、その他必要な支援を行うことです。

その他の事業として通所児に対する専門的助言・指導が出来るよう、道立旭川療育センターの巡回指導や、美幌療育園からの派遣事業を行っています。指導形態は、1対1の個別指導と3〜4人等の小集団指導があります。

主な療育内容として児童発達支援では、基本挨拶・お話、リトミック、サーキ

ット、親子遊び・運動、製作、ルール遊び、手指を使った活動、絵本読み、お口の体操（主に発音に課題のある児）などを行い、放課後等デイサービスでは、基本挨拶・テーマ発表・リズム・全身運動、手指を使った活動、ソーシャルスキルトレーニング、ルール遊び、ゲーム、振り返り記載などを行っています。

センター内には個別に行う療育支援の教室や体育館があり、それぞれにマジックミラーが付いていて別室で子供たちの様子を観察することが出来ます。

現在、施設長1名・児童発達支援管理責任者1名・保健師1名・言語聴覚士2名・社会福祉士1名・保育士2名・嘱託医師（広域紋別病院小児科医師）1名・清掃管理人1名で運営されています。

発達検査等を実施できる専門職が少ない地域であるため、療育アドバイザー等の外部講師による支援を受けて対応しています。

このような状況からセンターの職員は、専門研修の受講や外部講師の助言を受

けることで検査方法を取得するなど質的向上に取り組む。将来的には、発達検査等の専門的支援をセンターの職員が担っていくことを目指しているそうです。

まだまだ専門スタッフが足りていないのが現状で仮にスタッフが産休や育休などの長期休暇に入ってしまうと受け入れ人数をセーブするしかないのが問題点だそうです。

興部町では令和元年度に5名、令和2年度に10名、令和3年度に11名の児童が大体、一週間に1回の割合で通所されて児童の送迎は保護者の方が行っています。

保護者の送迎というののも大変な負担になっていると思います。興部町では交通費支援というかたちで支援給付として助成をしています。

今後は、専門スタッフ雇用の問題、児童送迎の問題など様々な課題をクリアして発達障がいの児童がいる保護者の方が今以上に安心して支援センターを利用できる事を期待します。

（記…総務社会常任委員会

委員 桑辺 博教）

議会の動き

令和3年8月13日以降

13日	決算審査特別委員会（2日目）	15日	決算審査特別委員会（3日目）
8月19日	議会全員協議会	17日	第3回町議会定例会（9日目）
24日	興部高等学校間 □対策協議会	28日	西紋別地区衛生 組合議会臨時会
27日	議会全員協議会 ・総務社会常任委 員会所管事務調 査	9月2日	西紋別地区衛生 組合議会運営委 員会
	・産業建設常任委 員会所管事務調 査	10月13日	興部町老人クラ ブ連合会創立50 周年記念式典
	・議会全員協議会 ・議会改革特別委 員会	18日	議会広報特別委 員会
6日	議会運営委員会	21日	合同常任委員会 所管事務調査
8日	乳牛感謝祭・牛 馬祭	27日	議会広報特別委 員会
9日	第3回町議会定 例会（1日目） ・決算審査特別委 員会（1日目）	11月3日	興部町功労者表 彰式典
10日	広域紋別病院企 業団議事事前説 明	6日	オホーツク圏活 性化期成会管内 選出北海道議会 議員への要望会 及び意見交換会

議員活動報告

議会全員協議会

議長 山川 孝義

8月19日、8月27日、9月2日、協議会を開催し理事者及び所管課から説明を受け、質疑を行いました。

8月19日

○ヒグマ講演会の開催について
○教育費の専決処分について
○興部町課設置条例の改正について
○道外行政視察について
○各常任委員会所管事務行政調査及び議会改革特別委員会道内先進地視察について

8月27日

○機構改革（案）の検討について
9月2日

○地方公務員の定年延長について
○会計年度任用職員の給料月額及び報酬額の改定について

ついて

○興部町過疎地域持続的発展市町村計画について
○幼保連携型認定こども園整備の進捗状況について
○新型コロナウイルススワクチン接種の実施状況について

○地方創生臨時交付金を活用した新型コロナウイルス感染症経済対策支援事業に係る補正予算について

○興部町経営持続化家賃支援事業の期間延長について

・商工会プレミアム付商品券事業について
・新型コロナウイルス感染症対応「店舗等感染予防対策支援補助金」について

○バイオマス事業に関する補正予算について
○興部町住生活基本計画及び興部町公営住宅等長寿命化計画の策定について
○下水道事業における防災・安全交付金（重点）の事業調整について
○新型コロナウイルス感染症の影響を考慮した上下水道料金の減免支援の延長について

議会運営委員会

委員長 竹内 清

9月6日、委員会を開催し次の事項について審議しました。

9月6日

○令和3年第3回議会定例会の運営について
○議会報告会（意見交換会）について

議会改革特別委員会

委員長 阿部 昭一

9月2日、委員会を開催し次の事項について協議しました。

9月2日

○なり手不足対策協議事項課題検討項目(9)「議会運営」の再検討について
○議会改革、議会運営に関する町民アンケート結果の検討について
○次回の課題検討項目と開催日について

今回の 表紙

興部町剣道

スポーツ少年団

興部町剣道スポーツ少年団は昭和38年6月に興部地区剣道連盟傘下の興部町剣道連盟少年部として発足され、昭和48年に剣道スポーツ少年団として再結成され約48年に渡り活動されているスポーツ少年団です。

現在、顧問の剣士（指導者）8名と少年少女合わせて15名の団員（興部8名・紋別5名・雄武2名）で『試合の勝敗にこだわらず文武両道、



精神面の向上』をモットーに毎週月曜日と木曜日の18時から20時まで興部町総合センターにて活気ある稽古を行っています。

団員は中学生までには有段者になることを目標にして現在4名の有段者がいます。

また文武両道の取り組みとして小学3年生以上の団員の希望者に英語の『読む・書く・聴く・話す』四技能を伸ばすべく学習支援事業も行っている日本英語検定協会が実施している実用英語技能検定に合格者を出しています。

今回、お話を聞いた剣士は中学3年生の片岡美羽さんです。

片岡美羽さんは幼稚園の頃に興味を持ち小学1年生から入団したキャリア9年目で二段の腕前です。

（ちなみに中学生までに取れる段位は二段が最高だそうです。）



片岡美羽さん(二段)



足を怪我することもあるが稽古に集中し一生懸命、竹刀を打っていることが楽しいと話してくれました。

また今後の目標は、コロナ禍の影響で試合がないのは残念だが『稽古を通じて技術の習得と精神面の成長。』と向上心のある答えをいただきました。（片岡美羽二段、頑張ってください。）

一生懸命に稽古をする少年少女剣士、それを指導する顧問の方々の努力が少年団のモットーである『試合の勝敗にこだわらず文武両道、精神面の向上』につながると思いました。

少年少女剣士の皆さん、稽古に精進して立派な剣士になってください。

（記：広報特別委員会

委員 桑辺 博教）

編集後記

令和3年10月、早いもので今年も山粧う季節となりました。

非常事態宣言の中、色々問題もありましたが、東京オリ・パラも無事終了しました。お盆連休もあり、残念ながらこのあたりから第5波の、コロナ感染が増大し、北海道・オホーツクにおいてもどこまで増えていくのか大変心配をしたところでもあります。

コロナワクチン接種が4月からはじまり、最初はてこずっていたようですが、8月ころから順調に進んでその効果も出てきたのかもしれないし、コロナ感染の恐ろしさに熟知し、3密（密閉、密集、密接）を避ける行動に加えて、マスク着用や手指消毒・手洗いの励行、さらに日常生活においても十分注意をした結果なんだろうと思います。8月後半から徐々に減少傾向になり9月30日には非常事態宣言解除となりました。

このことにより、早速、観光地等においては人の移動が大幅に増えているようですが、インフルエンザの流行が始まるこの時期、今までの経験を活かし、コロナ感染者が増加しないことを望みます。

また、新しい総理のもと、衆議院選挙が始まります。ソーシャルディスタンス確保により選挙戦もお願いしたいものです。新しい総理のもと、コロナ対策、経済対策をしつかりと進めていただきたいと思います。

緊急事態宣言解除となり、気持ちも緩みがちですが、今一度引き締めて、第6波が来ないよう健康管理に十分注意をし、新型コロナウイルス感染、インフルエンザにかからないよう引き続きお願いいたします。

（記：広報特別委員会

委員 阿部 昭二）

広報委員長	鈴木 精一
副委員長	藤渡 昭博
委員	阿部 昭一
委員	竹内 清
委員	桑辺 博教
議会事務局長	須田 寿史
議会事務局主事	佐藤 麗華